

Contents

● わたしたちが寝ている時間に
働く人たちがいる…………… 4

Works 1 花市場スタッフ…………… 6

Works 2 高原レタス生産者…………… 10

コラム 1 深夜に病院で働く人の
子どもを預かる仕事…………… 14

Works 3 看護師…………… 16

Works 4 災害救急情報センター
管制員…………… 20

Works 5 テーマパークの整備士…………… 22

Works 6 テーマパークの
夜間清掃員…………… 24

みんなのギモン

コラム 2 やりたいことがありません
将来の夢を持っていないとダメですか? …… 26

Works 7 天文台職員…………… 28

Works 8 トンネル整備士…………… 32

Works 9 航空管制官…………… 34

ほかにもあるよこんな仕事…………… 37

Works 10 漁師 Works 11 パン職人



はじめに

みなさんは、いつ寝ていますか? 多くの方は夜に寝て、朝に目覚める生活をしていると思います。でも、みなさんが夢の中にいる間も世の中は動き続けていて、そこで働いている人たちがたくさんいます。

わたしたちは、新鮮な野菜をスーパーで買うことができますし、朝早くから飛行機に乗って旅行をすることも、一日中テーマパークで遊ぶこともできます。夜中に急に体調が悪くなっても、救急車がすぐに来てくれますし、病院ではお医者さんや看護師さんが待っていてくれます。

こうしたことは当たり前のように感じますが、わたしたちが寝ている間に働いてくれている人たちのおかげで、便利で安心な生活を送ることができています。

「夜中に働いている人たちはねむくならないのかな?」「朝早くや夜遅くにはどんな仕事があるのかな?」など、気になることもありますよね。

この本を読みながら、わたしたちが寝ている間に働いている人たちに会ってみてください。きっと新しい発見がたくさんありますよ。

パーソルキャリア株式会社
“はたらく”を考えるワークショップ 推進チーム

※この本の内容や情報は、制作時点(2024年7月)のものであり、今後変更が生じる可能性があります。

わたしたちが

寝ている時間に

働く人たちがいる



寝ている時間とは

「寝ている時間」とは、多くの方が夜の間にねむりにつく時間帯のことです。一般的には、22時ごろから朝の6時ごろまでを指します。この時間帯にわたしたちはねむり、体を休め、翌日の生活に備えます。けれども、この時間帯にも世界は止まらずに動いていて、多くの人々が働いています。

※寝ている時間帯は文化や風習、個人の生活によっても異なります。

なぜ寝ている時間に働くの？

寝ている時間に働く理由はさまざまです。ひとつは、24時間必要とされるサービスを提供するためです。病院や警察、消防などは必要なときにいつでも対応できるよう、夜中も活動をしています。また、新鮮な食品を店頭並べるためには、夜中に製造や物流が行われています。



どういう人が働いているの？

夜中に行われる仕事もまた、いろいろな種類があります。急病になった人を助けてくれる医師や看護師。事件や事故に備えている警察官や消防士。工場などで製造された商品をお店などに運ぶトラックの運転士。



新聞配達の人たちは、朝の新聞を届けるために早朝から働いています。その新聞を印刷する印刷会社の人たちは夜中から稼働しています。

これらの仕事で働く人たちがいるおかげで、わたしたちは朝起きたときに、ふだん通りの生活を送ることができます。

深夜から早朝にかけての仕事

わたしたちが寝ている間にも多くの方が働いて、わたしたちの生活を支えてくれています。これからこの本を通じて、夜中から早朝にかけて働く人たちの仕事についてくわしく調べてみましょう。

代表的なものは、

警察官 消防士 運送業者 清掃員

機械整備士 生産農家 病院の医師や看護師

商品の夜間製造者 青果市場・魚市場スタッフ

などがふくまれます。



花市場スタッフ

川崎花卉園芸



国内や海外から届く多種多様な花を

生花店へ販売する

花市場は街の生花店が花を買い付けにくるところ

花市場は、花の生産農家から花を集め、街の生花店に販売する「おろし売り」をするところです。日本国内では、現在111の花市場が各地にあり、季節の花をはじめ、多種多様な花を取りあっています。

インターネットの発達により、街の生花店も直接、花の生産農家から花を購入することができますが、花市場が取りあつかう花の数や種類は、それより何倍も多いので、花市場を利用するほうが便利です。

さらに、花市場では国内だけでなく、海外から仕入れた花を購入することができるので、めずらしい花を仕入れることもできます。

花市場の主な仕事は「せり売り」とその準備をすること

花市場の仕事は、2つにわかれています。ひとつは、街の生花店への「せり売り」や商品の引きわたし、花の生産農家へ報告を行う日。もうひとつは、花の仕入れや仕分けなどを行う日です。

「せり売り」は、進行する「せり人」が花の名前や特徴を説明しながら、だれがいくらで買うかを決める方法です。公開で行われるので、参加者は花の値段を知ることができ、公平に取引ができます。

おしごとデータ

年収 約300万円～ 仕事時間 1日約8時間

必要な資格 入社時はとくになし

花市場の深夜から早朝にかけての仕事

「せり売り」の前日は17時から荷物の仕分けが始まります。その日は夜おそくまで荷物が入ってくるため、次の日の朝早くから始まる「せり売り」と合わせ、交代制で仕事をします。

「せり売り」と前日の仕事

- 17:00 **1 花を入荷する**
17時以降、夜から深夜にかけて、国内外の花の生産農家から花が運ばれてきます。
- 24:00 **2 入荷した花をわけ**
運ばれてきた花を受け取り、せり売りの分とあらかじめ注文を受けていた分にわけます。注文の商品は、箱につめて配送準備をします。
- 7:00 **3 朝7時「せり売り」開始**
せり人から花の説明を受け、その花を買いたい人たちが「このバラを500円で買いたい」と手をあげて値段を言います。すると、ほかの人が「私は600円で買います」と言って、値段を上げていきます。最終的に、一番高い値段をつけた人がその花を買うことができます。



●手せり：手や指の仕草でお客様とやり取りを行い、価格を決めます。指で現しているのは、数字です。

- 9:00 **4 買い手のついた花を箱に入れる**
買い手のついた花を、だれが買ったかわかるように番号を記入して、箱づめていきます。
- 10:00 **5 お客様(生花店)に花を引きわたす**
大きな運搬用キャリアで、街の生花店のトラックまで花を運びます。
- 11:00 **6 花の生産農家へ報告する**
せり売りが終わったら、生産農家に売れた数や次回の注文などを報告したり、事務仕事をしたりします。



花市場で働く人の道具や制服

インカムとハサミは必需品

花市場で働く「せり人」が身につけている道具は、せりのときにつかうインカム（マイクとイヤホン）と、花の箱や花のくきを切るときに必要なハサミです。人によっては、ナイフをメインにつかう人もいます。ハサミを入れるケースはがんじょうで、ズボンのベルト部分にぶらさげることができるようになっています。



■せり人の大竹準平さんの道具
右から、花のくきを切ったり、箱を開けたりするときにつかうハサミやナイフとそれをを入れる革のケース、せりのときにつかうインカム（イヤホンとマイク）。



■事務の加藤賢人さんの道具
ペンやハサミ、メジャー、カッターなど花の加工につかう道具がメインになっているそうです。右はしにある赤くて細長いものは、箱をくくっているビニールのヒモを切るための道具です。

ひと目で市場の人とわかる制服

花市場では、たくさんの荷物をあつかうので、動きやすくてよごれてもいい服が基本です。川崎花卉園芸では、市場にくるたくさんの人たちから見て、ひと目で市場の人とわかるように制服があります。シンプルで動きやすく、ふだん着のように着られるおしゃれな制服です。



■写真上／向かって左からせり人の大竹準平さん、阿部千花さん、事務の加藤賢人さん。ロゴ付きの川崎花卉園芸の制服は、ひと目でスタッフというのわかるようにしています。

■写真下／大きな文字が書かれた前かけも、遠くから見ても川崎花卉園芸のスタッフとわかるようなデザインです。

花市場で働くには？

農業や天気の勉強が役に立つ

人とのコミュニケーションが多いので、花以外にも、いろいろな知識を持っているといいと思います。学校では、農業や天気などの勉強をしていると、仕事に役立ちます。

教えて！



花市場で働くスタッフさん

この仕事
3年目

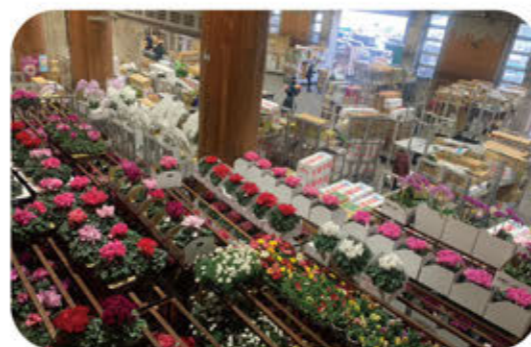
阿部 千花さん (25歳)
川崎花卉園芸株式会社



海外に花の買い付けに行くと、日本の花とのちがいが強くなって、やりがいを感じます。

Q 仕事で楽しいと感じることは？

出張をして、さまざまな場所へ行けることです。ふだん、花屋さんでは見られないめずらしい花もたくさん見ることもできますし、花についてくわしくなるのが楽しいです！



Q この仕事を選んだ理由は？

花市場で働く前は、ホームセンターの園芸コーナーで仕事をしていました。仕入れなども担当していたので、その経験を生かして新しいチャレンジができるのではないかと思います。花市場での仕事を選びました。

Q どんな人がこの仕事に向いている？

花が好きなら、その気持ちだけで十分向いているといえます。それから、人のために役に立ちたいと思える人、自分で自分の目標を立てて、それに向かって働ける人は、花市場での仕事だけではなく、どんな仕事でもできると思います。

Q 海外で仕事をすることはある？

出張で海外に行くことがあります。外国に住んで仕事をするのは、今のところありませんが、海外の農家との取引もするため、将来は、そういった仕事ができるようになる可能性もあると思います。

Q 深夜から早朝にかけての仕事で大変なことは？

朝早く起きるのが苦手な人は、とくにそうだと思いますが、早起きが大変です。それから、花はかわいらしく、きれいなのですが、たくさん花が箱に入っていると、意外とズッシリと重いので力が必要です。

Q 将来の夢は？

日本でいちばんたよられる花市場の担当者になって、みなさんにもっと花に興味を持ってもらい、花のある生活が当たり前というふうにしたいです。それから、農業に活気がある日本にしたいです。